

E P A活用推進会議
(第5回)
議事要旨

日時：2024年3月19日（火）14：00～16：00

形式：経済産業省本館17階第1特別会議室及びTeams（ハイブリッド開催）

出席者：

別紙のとおり

議題：

1. 各分野議論の進捗状況ご共有
2. 自由討論

議事概要：

1. 各分野議論の進捗状況ご共有
 - ・ 標準化・デジタルツール関連の取組について、東京共同会計事務所・元杭氏および（株）NTT データ・河田氏より説明。 ※詳細は「配布資料4-1、4-2（非公開）」参照。
 - ・ 制度・運用改善の取組について、（株）アイシン・清水氏より説明。日本商工会議所、経済産業省原産地証明室よりコメント。 ※詳細は「配布資料5」参照。
 - ・ 普及・啓発の取組について、旭化成（株）・田中氏、日本貿易振興機構・飯田氏、日本印刷産業機械工業会・星野氏、日本工作機械工業会・秋山氏、日本建設機械工業会・佐藤氏より説明。 ※詳細は「配布資料6-1～配布資料6-5」参照。
2. 自由討論
 - ・ (1)各発表に対する質疑応答・意見交換、(2)各業界の進捗状況と課題、(3)経営層向けのメリットの訴求の3点について自由討論を実施したところ、参加者からの主なコメントは以下のとおり。
 - サプライチェーン全体でEPA 特恵関税の活用メリットを享受できる点を個社の立場で伝えるのは難しいと感じる場合もある。普及・啓発活動で業界団体や政府による後押しがあると有難い。
 - EPA 利用により、サプライチェーン全体が恩恵を受けることを数値化できると、EPA の利用がより広がると考えている。
 - 経営層に訴求する上では、関税減免額を数値で示すことや、使い漏れがいくらあるのか、さらに、P/L への貢献がどれくらいなのかなども伝えることが重要だと思う。

- HSコードの特定に関してはどの企業も頭を抱えている。相手国の最高裁判例を参照する場合がある。

以上

お問合せ先：

通商政策局 経済連携課

電話：03-3501-1595